

2024年版 環境経営レポート



発行年月日 2024年11月15日

有限会社 深瀬電機

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営目標
6. 環境経営活動計画
7. 環境経営目標の実績
8. 環境経営活動計画の取組結果とその評価
9. 次年度の取組内容
 - (1) 環境経営目標
 - (2) 環境経営活動計画
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
11. 代表者による全体評価と見直しの結果

発行日： 2024 年 11 月 15 日

発行責任者：環境管理責任者 新谷 勇策

次回発行予定： 2025 年 9 月 頃

1. 組織の概要

【事業所名】 有限会社 深瀬電機

【代表者氏名】 代表取締役 深瀬 博徳

【所在地】

本社 高知県高知市鴨部 1076番地16号
倉庫 高知県高知市鴨部 3丁目22号

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 部署・工務部 新谷 勇策
連絡先担当者 部署・工務部 新谷 勇策
連絡先 TEL:088-843-3346
FAX:088-840-5565
E-mail:fukasedk@mg.pikara.ne.jp

【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業(主に電気設備、電機通信工事、機械器具設置工事を行っています。)

建設業許可	電気工事業	電気通信工事業、機械器具設置工事業
許可番号	高知県知事(特-3)第6362号	高知県知事(般-2)第6362号
許可年月日	令和3年9月28日	令和2年5月2日
建設業の種類	特定	一般

【事業規模】

設立年月日 1989年
資本金 4000万円

	2021年度	2022年度	2023年度
製品生産量・出荷額(売上高) (千円)	370,000	201,000	151,000
従業員数 (名)	11	9	8
事業所敷地面積 (m ²)	266	266	266
事業所延べ床面積 (m ²)	90	90	90

従業員数は、10月20日現在

会計年度 6月 ~ 5月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

有限会社 深瀬電機

本社、支店、営業所の住所を列举する。

本社	高知県高知市鴨部 1076番地16号	(常駐者： 8 名)
倉庫	高知県高知市鴨部 3丁目22号	(常駐者： 0 名)

対象事業： 建設業(電気工事業・電気通信工事業・機械器具設置工事業)

【レポートの対象期間】

2023年6月～2024年5月

【環境経営レポートの発行日】

2024年11月15日

【作成責任者】

環境管理責任者

新谷 勇策

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs NO.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を		高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに		環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に		水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も		高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう		低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう		下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさも守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

有限会社 深瀬電機は、高知県高知市で電気設備関係の建設工事を行っています。建設工事におけるあらゆる場面において環境保全を意識し、継続的改善による環境経営を行なっています。

【基本方針】

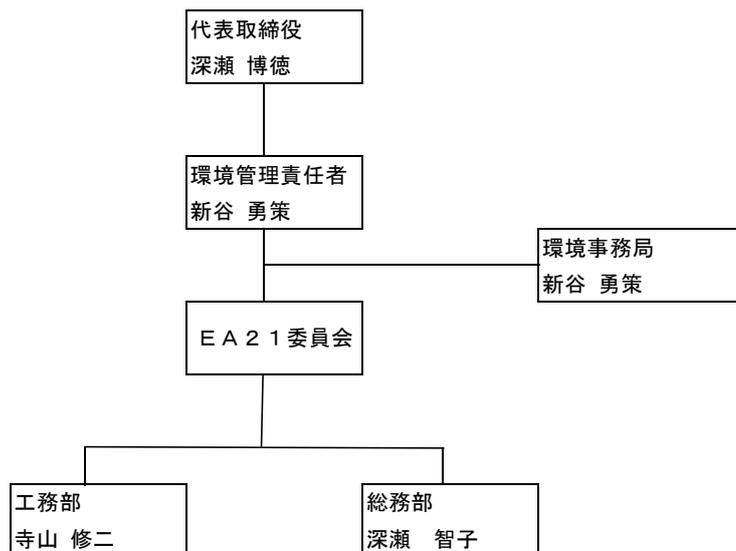
1. 建設工事において、環境負荷の少ない施工を行います。
2. 事業活動における燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
3. 事業活動における電力使用量の削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
4. 事業活動における廃棄物発生量の削減、再利用及びリサイクルを行います。
5. 事業活動における水使用量の削減により排水量を削減します。
6. 建設現場における化学物質排出について配慮します。
7. 事務用品及び調達資材のグリーン購入を推進します。
8. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
9. 環境経営方針は広く従業員に周知徹底します。
10. 環境経営レポート等環境情報について広く外部公表いたします。

2022年 7月 10日

代表取締役

深瀬 博徳

4. 環境管理組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・代表者による全体評価と見直し実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・自部門に係る環境経営計画の実施、達成状況報告 ・自部門に係る緊急事態訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営目標

環境経営目標 (2023 年度)

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	2021年度 2021.6－2022.5	2023年度 2023.6－2024.5
売上高		百万円	370	250
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	8,747	8,600
	原単位	(ℓ/百万円)	23.6	34.4
軽油使用量	総量	(ℓ)	2,399	2,200
	原単位	(ℓ/百万円)	6.5	8.8
灯油使用量	総量	(ℓ)	396	1,100
	原単位	(ℓ/百万円)	1.1	4.4
電力使用量	総量	(kWh)	13,238	12,800
	原単位	(kWh/百万円)	35.8	51.2
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	32,913	31,500
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	88.95	126
用水使用量	総量	(m ³)	62	55
	原単位	(m ³ /百万円)	0.17	0.22
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	未計量	68
	原単位	(kg/百万円)	#VALUE!	0.27
産業廃棄物排出量	総量	(t)	14.6	13.0
	原単位	(t/百万円)	0.04	0.05
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	84.1	93
グリーン購入	総量	(%)	90	92
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	30(33/121)	55
環境美化活動	総量	(回)	2	4

- * 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(2021年度実績)
(令和3年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数0.411(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- * 3. 環境負荷の少ない工事
 - 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機、発電機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - エコ電線、エコケーブルの使用

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2021年度 実績（基準年）	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標
売上高		百万円	370	250	250	280
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	8,747	8,600	8,500	8,450
	原単位	(ℓ/百万円)	23.6	34.4	34.0	30.2
軽油使用量	総量	(ℓ)	2,399	2,200	2,150	2,100
	原単位	(ℓ/百万円)	6.5	8.8	8.6	7.5
灯油使用量	総量	(ℓ)	396	1,100	1,050	1,000
	原単位	(ℓ/百万円)	1.1	4.4	4.2	3.6
電力使用量	総量	(kWh)	13,238	12,800	12,500	12,400
	原単位	(kWh/百万円)	35.8	51.2	50.0	44.3
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	32,913	31,500	30,000	29,500
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	88.95	126	120	105
用水使用量	総量	(m ³)	62	55	53	52
	原単位	(m ³ /百万円)	0.17	0.22	0.21	0.19
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	未計量	68	65	64
	原単位	(kg/百万円)	-	0.27	0.26	0.23
産業廃棄物排出量	総量	(t)	14.6	13.0	12.0	11.5
	原単位	(t/百万円)	0.04	0.05	0.05	0.04
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	84.1	93	96	97
グリーン購入	総量	(%)	90	92	93	94
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	30	55	60	65
環境美化活動	総量	(回)	2	4	4	5

6. 環境経営計画 (2023 年度)

期間： 2023 年 6 月 ~ 2024 年 5 月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○重機、車両、発電機のアイドルストップ	新谷 勇策	2023. 6~2024. 5
		○車両の急発進、急停止、急加速の禁止	新谷 勇策	2023. 6~2024. 5
		○重機のエコモードの使用	新谷 勇策	2023. 6~2024. 5
		○夜間工事時の投光器を充電式のLEDを使用する	新谷 勇策	2023. 6~2024. 5
	電力使用量 削減	○昼休み、帰宅時の消灯	新谷 勇策	2023. 6~2024. 5
		○トイレ、事務所階段への人感センサー取付	新谷 勇策	2023. 6~2024. 5
用水使用量削減 (排水量削減)		○車両の洗車時には泥等を先に落としてから行う	新谷 勇策	2023. 6~2024. 5
		○車両の洗車、倉庫の掃除時にはホースの先にストッパーを取り付ける	新谷 勇策	2023. 6~2024. 5
廃棄物削減	一般廃棄物	○建設現場などで発生する混合廃棄物分別し、リユース、リサイクルする。	新谷 勇策	2023. 6~2024. 5
	産業廃棄物	○不良在庫を減らすため、在庫数量の適正化	新谷 勇策	2023. 6~2024. 5
		○資材発注時に使用数量を再チェックし、残余建設資材の廃棄を抑制	新谷 勇策	2023. 6~2024. 5
グリーン購入		○北用紙を再生紙を利用する	新谷 勇策	2023. 6~2024. 5
		○		
		○		
		○		
環境負荷の少ない工事		○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用	新谷 勇策	2023. 6~2024. 5
		○低騒音、排出ガス対策型重機、発電機の使用	新谷 勇策	2023. 6~2024. 5
		○型枠、工事看板への間伐材の使用	新谷 勇策	2023. 6~2024. 5
		○エコ電線、エコケーブルの使用	新谷 勇策	2023. 6~2024. 5

7. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 2021年度 2021.6-2022.5	2023年度 目標 2023.6-2024.5	2023年度 実績 2023.6-2024.5	実績値/目標値 (%)	評価
売上高		百万円	370	250	151		
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	8,747	8,600	8,628.02	100.3%	×
	原単位	(ℓ/百万円)	23.6	34.4	57.1		
軽油使用量	総量	(ℓ)	2,399	2,200	2,268.04	103.1%	×
	原単位	(ℓ/百万円)	6.5	8.8	15.0		
灯油使用量	総量	(ℓ)	396	1,100	1,153.0	104.8%	×
	原単位	(ℓ/百万円)	1.1	4.4	7.6		
電力使用量	総量	(kWh)	13,238	12,800	12,581.0	98.3%	○
	原単位	(kWh/百万円)	35.8	51.2	83.3		
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	32,913	31,500	33,910.31	107.7%	×
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	88.95	126	224.57		
用水使用量	総量	(m ³)	62	55	56.5	102.7%	×
	原単位	(m ³ /百万円)	0.17	0.22	0.37		
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	未計量	68	95	139.7%	×
	原単位	(kg/百万円)	-	0.27	0.63		
産業廃棄物排出量	総量	(t)	14.6	13.0	24.79	190.7%	×
	原単位	(t/百万円)	0.04	0.05	0.16		
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	84.1	93	73.2	78.7%	×
グリーン購入量	総量	(%)	90.0	92	95	103.3%	○
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	30(33/121)	55	56(91/162)	142.9%	○
環境美化活動	総量	(回)	2	4	5	125.0%	○

* 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(2021年度実績)

(令和3年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数0.411(kg-CO₂/kWh)を使用した。

* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

* 3. 環境負荷の少ない工事

○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

* 4. 評価は、「○」、「×」で評価する。

<環境経営目標未達成等理由>

ガソリン：昨年度に引き続き道路照明維持工事を受注し毎月対象地域(高知市内全域)のパトロール(2回)を行っているため各車両の走行距離が著しく延びたため使用量が増加したため。合わせて越知町等山間部の道路照明工事を受注したため。

軽油：上記の理由により重機(高所作業車及び建柱車)を扱う作業が増加し使用量が増加したため。

灯油、電力使用量：予定より公共工事が多く事務作業が増え、事務所の滞在時間が多かったため使用量が増加したため。

用水使用量：掘削作業が予定より多く重機の洗車が増えたため。

一般廃棄物：道路照明工事により照明器具梱包用段ボールが予定より多く搬出されたため。

産業廃棄物：機械撤去工事(約11t)を受注したため。

産業廃棄物再資源化率：予定より混合廃棄物が多く搬出されたため。

8. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間： 2023 年 6 月 ～ 2024 年 5 月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○重機、車両、発電機のアイドリングストップ ○車両の急発進、急停止、急加速の禁止 ○重機のエコモードの使用 ○夜間工事時の投光器を充電式のLEDを使用する	・左記の取組みは十分に出来ている。 ・左記の取組みは十分に出来ている。 ・左記の取組みは十分に出来ている。 ・左記の取組みは十分に出来ている。	○	・現状を維持する
	電力使用量 削減	○昼休み、帰宅時の消灯 ○トイレ、事務所階段への人感センサー取付	・左記の取組みは十分に出来ている。 ・左記の取組みは十分に出来ている。	○	・現状を維持する
用水使用量削減 (排水量削減)		○車両の洗車時には泥等を先に落としてから行う ○車両の洗車、倉庫の掃除時にはホースの先にストッパーを取り付ける	・左記の取組みは十分に出来ている。 ・左記の取組みは十分に出来ている。	○	・現状を維持する
廃棄物削減	一般廃棄物	○コピ-用紙の裏側使用	・左記の取組みは十分に出来ている。	○	・現状を維持する
	産業廃棄物	○不良在庫を減らすため、在庫数量の適正化	・左記の取組みは十分に出来ている。		
		○資材発注時に使用数量を再チェックし、残余建設資材の廃棄を抑制	・左記の取組みは十分に出来ている。		
グリーン購入		○コピ-用紙を再生紙を利用する ○ ○ ○	・左記の取組みは十分に出来ている。	○	・現状を維持する
環境負荷の少ない工事		○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用 ○低騒音、排出ガス対策型重機、発電機の使用 ○型枠、工事看板への間伐材の使用 ○エコ電線、エコケーブルの使用の推奨	・左記の取組みは十分に出来ている。 ・左記の取組みは十分に出来ている。 ・左記の取組みは十分に出来ている。 ・左記の取組みは十分に出来ている。	○	・現状を維持する

具体的な取組状況

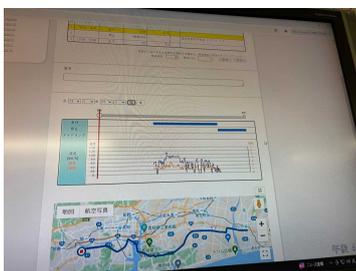
1. CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減



車両の更新

令和6年5月に軽トラック1台を更新しました。
燃料使用量は大幅な削減となっています。



エコドライブの徹底

エコドライブをデータ化することにより運転者全員の意識を高め
燃料使用量は大幅な削減となっています。
燃料消費量、急発進急停車を管理しています。

(2) 電力使用量削減



倉庫1階 LED照明設置

(2023年2月設置)
本社倉庫1階部分の照明(1本)を蛍光灯
からLEDに更新しました。



昼休み消灯

本社事務所内の昼休みについて照明を消灯し、
節電に努めています。



事務所階段照明に人感センサー設置)

(2023年4月設置)
本社事務所階段の照明に人感センサーを設置し、
節電に努めています。

2. 用水使用量の削減



地下水の利用

地下水の利用(トイレ、洗車用)をしています。



3. 廃棄物の削減

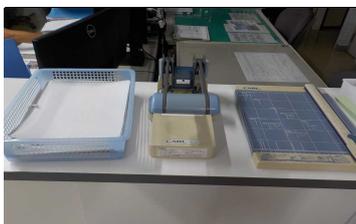
(1) 一般廃棄物の削減



不要紙ごみの分別の徹底

(分別箱：2022年7月設置)

本社事務所内紙ごみのシュレッターを設置し、不要紙の再利用を行っています。



コピー用紙の裏紙使用、両面コピー

ミスコピー用紙は、裏紙として使用し、また両面コピーを実施しています。

(2) 産業廃棄物



産業廃棄物分別の徹底

(分別置場：2022年8月設置)

産業廃棄物は分別し、有価物と廃棄物に分別し。産業廃棄物再資源化率が向上するように工事現場では努力しています。



4. グリーン購入



事務用品のエコマーク・グリーンマーク商品の優先購入
事務用品はエコマーク・グリーンマークの付いた商品を優先的に購入しています。

対象商品：コピー用紙、ファイル類、ノート類
ボールペン、シャープペン等

5. 環境負荷の少ない工事



低騒音、排出ガス対策型重機の使用

工事名称：春野町9号線柏尾観音トンネル照明灯改良工事

工事期間：2023年11月～2024年2月

工事場所：高知県高知市春野町

低騒音対策型重機を工事で使用しました。（高所作業車）

工事箇所周辺の騒音低減に努めています。



環境負荷の少ない材料の使用

エコケーブルの使用促進

工事用材料のケーブル部分にはエコケーブルの使用を促進し、環境負荷低減に努めました。



工事看板への高知県産間伐材の使用

工事名称：県道高知北環状線外1路線防災・安全交付金工事

工事期間：2023年11月07日～2024年03月25日

工事場所：高知県高知市中万々

工事看板には、高知県産間伐材を使用し、環境負荷低減に努めました。

6. 環境美化活動



ロードボランティア活動

環境美化重点地域早朝一斉清掃に参加をし、道路の清掃活動を行いました。

9. 次年度の取り組み内容 (2024年度)

(1) 環境経営目標

① 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2023年度 2023.6-2024.5	2024年度 目標 2024.6-2025.5
売上高		百万円	151	250
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	8,628.02	8,500
	原単位	(ℓ/百万円)	57.1	34.0
軽油使用量	総量	(ℓ)	2,268.04	2,150
	原単位	(ℓ/百万円)	15.0	8.6
灯油使用量	総量	(ℓ)	1,153.0	1,050
	原単位	(ℓ/百万円)	7.6	4.2
電力使用量	総量	(kWh)	12,581.0	12,500
	原単位	(kWh/百万円)	83.3	50.0
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	33,910.31	30,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	224.57	120
用水使用量	総量	(m ³)	56.5	53
	原単位	(m ³ /百万円)	0.37	0.21
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	95	65
	原単位	(kg/百万円)	0.63	0.26
産業廃棄物排出量	総量	(t)	25.09	12.0
	原単位	(t/百万円)	0.17	0.05
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	73.2	96
グリーン購入	総量	(%)	95	93
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	56(91/162)	60
環境美化活動	総量	(回)	5	4

- * 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(2021年度実績)(令和3年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数0.411(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- * 3. 環境負荷の少ない工事
 - 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機、発電機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - エコ電線、エコケーブルの使用

② 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2022年度 実績（基準年）	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
売上高		百万円	201	250	280	300
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	9,421	8,500	8,450	8,400
	原単位	(ℓ/百万円)	46.9	34.0	30.2	28.0
軽油使用量	総量	(ℓ)	2,790	2,150	2,100	2,050
	原単位	(ℓ/百万円)	13.9	8.6	7.5	6.8
灯油使用量	総量	(ℓ)	1,206	1,050	1,000	990
	原単位	(ℓ/百万円)	6.0	4.2	3.6	3.3
電力使用量	総量		13,648	12,500	12,400	12,300
	原単位	(kWh/百万円)	67.9	50.0	44.3	41.0
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	37,668	30,000	29,500	20,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	187.4	120	105	67
用水使用量	総量	(m ³)	59	53	52	51
	原単位	(m ³ /百万円)	0.29	0.21	0.19	0.17
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	72	65	64	63
	原単位	(kg/百万円)	0.36	0.26	0.23	0.21
産業廃棄物排出量	総量	(t)	14.4	12.0	11.5	11
	原単位	(t/百万円)	0.07	0.05	0.04	0.04
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	92.5	96	97	98
グリーン購入	総量	(%)	92	93	94	95
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	50 (84/168)	60	65	70
環境美化活動	総量	(回)	3	4	5	6

9. 次年度の取組内容
 (2) 環境経営計画

期間： 2024 年 6 月 ～ 2025 年 5 月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量削減	燃料使用量削減	○重機、車両、発電機のアイドリングストップ	新谷 勇策	2024.6～2025.5
		○車両の急発進、急停止、急加速の禁止	新谷 勇策	2024.6～2025.5
		○重機のエコモードの使用	新谷 勇策	2024.6～2025.5
		○夜間工事時の投光器を充電式のLEDを使用する	新谷 勇策	2024.6～2025.5
	電力使用量削減	○昼休み、帰宅時の消灯	新谷 勇策	2024.6～2025.5
		○トイレ、事務所階段への人感センサー取付	新谷 勇策	2024.6～2025.5
用水使用量削減 (排水量削減)		○車両の洗車時には泥等を先に落としてから行う	新谷 勇策	2024.6～2025.5
		○車両の洗車、倉庫の掃除時にはホースの先にストッパーを取り付ける	新谷 勇策	2024.6～2025.5
廃棄物削減	一般廃棄物	○コピー用紙の裏側使用	新谷 勇策	2024.6～2025.5
		○ダンボールは再生業者へ排出する		
	産業廃棄物	○不良在庫を減らすため、在庫数量の適正化	新谷 勇策	2024.6～2025.5
		○資材発注時に使用数量を再チェックし、残余建設資材の廃棄を抑制	新谷 勇策	2024.6～2025.5
グリーン購入		○コピー用紙を再生紙を利用する	新谷 勇策	2024.6～2025.5
環境負荷の少ない工事		○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用	新谷 勇策	2024.6～2025.5
		○低騒音、排出ガス対策型重機、発電機の使用	新谷 勇策	2024.6～2025.5
		○型枠、工事看板への間伐材の使用	新谷 勇策	2024.6～2025.5
		○エコ電線、エコケーブルの使用	新谷 勇策	2024.6～2025.5

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
	第12条の二の8項	特別管理産業廃棄物を生ずる事業所を設置している 事業者は当該事業所ごとに「特別管理産業廃棄物処理責任者」を選任	必要時	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
	第12条の10、11項	多量排出事業者（年間1,000t以上） の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
	第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
	第12条の三7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	新谷 勇策 新谷 勇策	遵守 遵守	2024.10.10 2024.10.10
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び 建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
騒音規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
振動規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
消防法	第8条	○防火管理者の選任、消防計画の作成 （遅滞なく所轄消防長又は消防署長に届出）	必要時	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長への許可 第1石油類 ガソリン：200ℓ 第2石油類 灯油、軽油：1,000ℓ 第3石油類 重油：2,000ℓ 第4石油類 潤滑油：6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 （指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵）	必要時	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 （フロン排出抑制法）	第5条	○定期点検の実施 エアコン：7.5kW以上50kW未満	1回/3年	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
		○エアコンの簡易点検	1回/3ヶ月	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	新谷 勇策	遵守	2024.10.10
高知市火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 （指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵）	必要時	新谷 勇策	遵守	2024.10.10

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年6月より2024年5月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望はありませんでした。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

- 定期見直し
- 臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 2023年6月より2024年5月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 2023年6月より2024年5月まで、問題点の是正処置及び予防処置となるものはありませんでした。 ③前回までの代表者の指示事項への対応 特にありません。 <改善提案>				【環境経営方針】 変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・環境経営方針の見直しはありません。	
【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】				【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】 変更の必要性： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・今後車両に電気自動車を追加することを検討している。	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)		
ガソリン使用量	×	○	走行距離増加		
軽油使用量	×	○	同上		
電力使用量	○	○	今後も維持する		
CO2排出量	×	○	燃料使用量の増加による		
一般廃棄物搬出量	×	○	照明器具梱包袋段ボール増加		
産業廃棄物搬出量	×	○	大型機器撤去工事を受注したため	【その他】 変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・エコアクション21はシステムとして有効に機能している。	
産業廃棄物再資源化率	×	○	混合廃棄物が増えたため		
環境負荷の少ない工事	○	○	今後も継続する		
<改善提案>					
【周囲の変化の状況】 ①外部コミュニケーション記録より 2023年6月より2024年5月まで、外部からの苦情及び要望はありません。 ②環境関連法規制等の動向 当社における、環境関連法規の改定となるものはありませんでした。 <改善提案>				【総括】 (環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載) ・環境経営目標については、達成は半分以下である。 環境経営計画については、取組は十分にできている。法順守についても違反はなく、外部からの苦情要望はなく、問題ない。全体的にできているが、環境負荷の低減のため、設備投資を含め、一層の改善をしていく必要がある。	
代表者が自ら得た情報					